

5 概 況

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は水道事業が 42,255 人、鶴形簡易水道事業が 535 人で、給水区域内の普及率は水道事業が 96.3%、鶴形簡易水道事業が 95.7%となっている。また有収率は、水道事業が 86.2%で前年度比 0.3 ポイントの減、鶴形簡易水道事業が 92.3%で前年度比 1.4 ポイントの減となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は合計 178,144,166 円で前年度と比較して 6,878,186 円（3.7%）の減となっている。この主な要因は、営業収益等の減によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～11）。

財政状況を見ると、資産は現金預金の増により流動資産が増えた一方、減価償却により固定資産は減り、前年度と比較して 126,559,657 円（1.0%）の減となっている。また、負債は企業債等の減により、前年度と比較して 311,742,247 円（3.5%）の減となっており、資本は組入資本金等の増により、前年度と比較して 185,182,590 円（5.3%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P12～18）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は水道事業、鶴形簡易水道事業とも 98.5%となっている。繰越分の収入率は水道事業が 59.7%、鶴形簡易水道事業が 100.0%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P19～20）。